

月刊シニアビジネスマーケット

超高齢社会のライフスタイルをデベロップする経営情報誌 SENIOR BUSINESS MARKET

2016
March
no.140

03

[特集]

一億総活躍社会

——「介護離職ゼロ」政策をどう読む

ツクイがテーマ別の事例発表会をはじめて開催



津久井社長から表彰される第1位を受賞した「ツクイ山科助修寺」

ツクイ <http://www.tsukui.net/>

介護事業大手のツクイは、1月27日、本社近くの横浜市港南区民文化センター「ひまわりの郷 大ホール」にて、同社ではじめてとなる「テーマ別事例発表会」を開催した。介護業界で関心の高い、①地域貢献、②認知症、③医療連携、④人材育成・離職防止、⑤おもてなし、⑥機能訓練、の6つのテーマについて、同社の600を超える事業所のなかから356のエントリーがあり、エントリーシートでの

厳正な選考を経て13の事業所が晴れの舞台に進出。6テーマのうちの1つについて約8分間のプレゼンテーションを行った。

審査員および聴講者による投票の結果、第1位に輝いたのは、人材育成・離職防止をテーマに、「辞めない・辞めさせない・辞めたくない事業所づくり」を発表した「ツクイ山科助修寺」(デイ、介護予防デイ)が受賞。なお、第2回の開催を今年11月に予定している。



企業動向

マザアスと慶應義塾大学医学部らが、健康長寿の共同研究を実施

マザアス <http://www.motherth.com/>

「サウホームグループの姉妹企業マザアスと慶應義塾大学医学部、社会福祉法人さくら会は健康長寿に関する共同研究について契約を締結、このほど調査を開始した。

期間は2015年12月から18年3月まで。マザアスおよびさくら会が運営する高齢者住宅「さくらハイソ西五反田」に入居する80歳以上の自立高齢者が対象で、アンケートや個別面談を実施。心理面・身体面の状態、食習慣などの生活習慣を数年間わたって調査する。

健康寿命が延びることが、生活の質の向上だけでなく医療費や介護費の削減にもつながることが、政府は20年までに健康寿命を1歳以上延ばすことを目標に掲げている。本調査は、農林水産省が実施する先進的な健康長寿型の食産業を育成するための環境整備の一環として、老化によって発生率が高まる動脈硬化や骨粗鬆症、認知症などの予防や、80歳以上の高齢者に向けた食事摂取基準の提唱、食事メニューの開発に活かしていく。



調査・研究

Monthly Watch

終活コンシェルジュ「高齢者の実態調査報告」地域との関わり合いをアンケート調査

終活セミナーおよび相談会の企画運営、高齢者パネルへのマーケティング支援まで幅広く手がける一般社団法人終活コンシェルジュ(東京都渋谷区)は、このほど「高齢者の実態調査報告～高齢者の地域及び人との関わり合いに関するレポート」を公表した。

同法人は東京都板橋区の高島平団地(高齢化率推定25%)内のコミュニティカフェ・高島平に「高島平なんでも相談室」を設け、高

齢者と日常的に接する。

今回の調査は、セミナー来場者38人に対してアンケート調査を実施した。それによると、「日頃親しくしている人がいる」と回答した高齢者は70%(別図)、近所付き合いが全くない人は5人に1人、地域活動に参加している人75%、日常生活で困ったとき、手伝う人がいない人は20%などとなっている。

■別図 高齢者の70%が「日頃親しくしている人がいる」と回答



出所:一般社団法人終活コンシェルジュ

一般社団法人終活コンシェルジュ <http://www.shukatsu.or.jp/>